

イチゴジャムを使ってプログラミングを学ぶ教室
参加者＝鯖江市のHana道場



鯖江市のNPO法人「エル・コミュニティ」は13日から、全5回の「大人のためのプログラミング入門講座」を同市旭町1丁目のHana道場で開く。2020年度から小学校でプログラミング教育が必修化されるのに向け、授業をサポートできる人材を育成する狙い。外部講師を招く費用を使わず、地域内で賄う全国に先駆けたモデルとなることを目指す。
(杉本拓磨)

地域皆でIT教育を

鯖江で大人のプログラミング講座

必修化向け人材育成

同NPOは17年から、大人向けのプログラミング教室を月2回、同道場で開いている。1、2回の参加では子どもに指導するまでの技術を習得することは難しく、今回初めて5回シリーズでの開催とした。

講師は同NPOの中村正一さん(26)が務める。鯖江市内に開発拠点を持つjig.jp(東京)が開発した子ども向けプログラミング専用パソコン「IchigoJam」(イチゴジャム)を教材に使用。プログラミングを基礎から学び、ゲーム作りなどを行う。全5回終了後にはjig.jpが独自に設けた検定に挑戦してもらう。指導は将来的に児童に教えることを踏まえ、楽しく分かりやすい内容を心掛けるという。検定に合格した参加者には、同道場のプログラミング教室で講師の経験を積んでもらう予定だ。

同NPOの竹部美樹代表は、全国で始まっているプログラミングに関する事業について「子どもへの指導に注力し過ぎて、肝心の教える人材を育成できていない」と指摘。「長期的な教育のためにも地域だけでできるIT教育の整備が必要」と話している。

講座は13、27日、2月3、17日、3月10日の全5回で、検定は3月24日。いずれもHana道場で午後2時～同3時半に開く。参加費は1万円。申し込み、問い合わせは同NPO ☎080(3048)0087。